

専門誌「学校の食事」2025 1月号より 特集「みんなどうしてる？給食費編 part 1」

## 物価高 給食の質に 影落とす

近年の物価上昇は、学校給食にも多大な影響を与えています。そこで今月号の特集は、「みんなどうしてる？ 給食費編 Part 1」。全国の栄養士さんから寄せられた声を通して、給食の質の低下、時には栄養価も十分に満たせないという厳しい現実が浮き彫りになりました。食の見本となるべき給食を提供したいのに、価格の制約のためにそれができないという栄養教諭の皆さんの葛藤も伝わってきます。学校給食の質を維持するため、物価上昇に応じた適切な価格設定と必要な財政支援の早期実現が望まれます。

学校における食育の推進を図るための6つの食育の視点、【食事の重要性】【心身の健康】【食品を選択する力】【感謝の心】【社会性】【食文化】のいずれに関しても、多様な食品と調理法による魅力的でおいしい学校給食は、児童生徒の食に関する資質・能力の育成に欠かせないものです。

学校給食が子どもたちの成長と健康に寄与し、子どもたちの食に関する資質・能力を育成するための教材となるようにするためには、食材費の高騰に対し、適切な食品構成による給食が提供されているか、給食費を定期的に見直すことが必要です。

1食当たりの学校給食費平均値（都道府県別）

小学校 269円 中学校 314円

都道府県名	小学校	中学校	都道府県名	小学校	中学校	都道府県名	小学校	中学校
北海道	265	312	石川県	274	321	岡山県	294	341
青森県	271	311	福井県	266	308	広島県	265	309
岩手県	275	317	山梨県	288	336	山口県	273	313
宮城県	290	349	長野県	287	335	徳島県	298	330
<b>秋田県</b>	<b>293</b>	<b>333</b>	岐阜県	263	304	香川県	270	304
山形県	282	328	静岡県	283	338	愛媛県	256	294
福島県	318	358	愛知県	262	317	高知県	272	306
茨城県	269	297	三重県	260	291	福岡県	263	313
栃木県	252	296	滋賀県	229	266	佐賀県	260	307
群馬県	248	295	京都府	259	306	長崎県	249	297
埼玉県	261	315	大阪府	252	317	熊本県	244	290
千葉県	274	326	兵庫県	253	303	大分県	251	277
東京都	279	345	奈良県	259	298	宮崎県	252	295
神奈川県	267	323	和歌山県	261	295	鹿児島県	263	309
新潟県	297	350	鳥取県	286	332	沖縄県	237	265
富山県	298	351	島根県	271	313			

（文科省による「令和5年度学校給食実施状況等調査」を加工して作成）

**質問** 食材費を抑えたことによる影響を教えてください。（「当てはまる」と「やや当てはまる」の合計の割合）

第1位 果物やデザート回数の回数や量を減らしている。 94%

第2位 肉の部位や種類を変更している。 83%

第3位 調味料や加工品を安いメーカーに変えている。 72%

第4位 魚の回数を減らしている。 69%

第5位 個数物を減らしている。 63%

その他 「行事食やイベント給食をやめている(56%)」 「栄養価や食品構成が満たせないことがある(56%)」

「動物性たんぱくから植物性たんぱくの食品に変えている(53%)」

「既製品を減らして手作りにしている(44%)」 「おかずを1品減らしている(39%)」

「年間の給食回数を減らしている(5%)」

（学校の食事1月号より一部抜粋）